

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 14日

協議会名: 千葉市地域公共交通活性化協議会地域公共交通部会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス(株) 北部循環線	草野車庫～八千代台駅 ～いきいきプラザ	・沿線にある集客施設と時刻表を記載したルートマップを作成し、自治会内で配布することで、地域の魅力とバスの利便性をPRした。 ・地元自治会、関係市、京成バス(株)からなる三者協議会を開催し、利用促進や課題点等について協議した。 ・市のホームページに路線バスに関する情報を掲載する等、公共交通の利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】 収支率を1%改善させる。(R6年度収支率34.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は3.2%悪化し31.7%となった。 【目標を達成できなかった要因(分析)】 改善基準対応や運転士確保の待遇改善のための人件費の増加や、昨今の物価高等により運送コストが上昇し収支が悪化した。	令和6年度同様、ルートマップの配布や市ホームページへの路線バス情報の掲載、リーフレットへの路線図のQRコードの掲載により利用促進を図るとともに、三者協議会にて利用促進策や課題について協議を行っている。
小湊鉄道(株) 塩田喜多線	塩田営業所～浜野駅東口 ～喜多	・千葉市内に転入してきた方などを対象に配布する「公共交通利用促進リーフレット」に「鉄道・モノレール・バス路線図」のQRコードを掲載し、利用促進を図った。 ・市ホームページに路線バスに関する情報(時刻表等)を掲載し、公共交通の利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】 収支率を1%改善させる。(R6年度収支率80.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は10.1%悪化し70.1%となった。 【目標を達成できなかった要因(分析)】 タイヤ改正による利便性向上により利用者は増加したが、それを上回る広告収入の減や車両費・人件費・燃料費等の費用増加により収支が悪化した。	引き続き、リーフレットへの路線図掲載や市HPでの時刻表掲載など利用促進を図るとともに、市原市と連携し、課題等について協議を行っていく。
京成バス千葉イースト株式会社 おまご線	千城台駅～ 沖十文字バス乗換場・ 農政センター ～千城台駅	・地元自治会、千葉市、京成バス千葉イースト(株)からなる運行協議会を開催し、利用促進策や課題点等について協議した。 ・モバイルチケットを導入し、地域商業施設で利用できるクーポン付き乗車券を発行し、利用促進・利便性向上を図った。 ・路線沿線施設へのパンフレットを配布し、通信環境がない高齢者にも時刻表を配布できるよう対応した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】 収支率を1%改善させる。(R6年度収支率18%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は7.9%改善し、25.9%となった。 【目標を達成できた要因(分析)】 パンフレット配布やモバイルチケット導入など、利用促進・利便性向上を図ったことや、フリー乗降区間を拡大したことにより、利用者が増加し、収支改善となった。	利用促進イベントなどを開催し、利用者の増加に努めるとともに、引き続き運行協議会にて、利用促進策や課題について協議を行っている。また、乗降調査や需要予測などを実施し、データに基づく運行の効率化を検討する。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・モバイルチケットの導入や市HPの活用、パンフレットの配布等公共交通の利用促進を行い、デジタル／アナログ併用と沿線施設連携により、多様な利用者への到達性が高まった点を評価する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名： 銚子市地域公共交通協議会
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス千葉イースト(株) 銚子旭線	東芝町/双葉町～イオンモール銚子～旭駅	今後も事業を継続していくため、旅客の利便性向上、利用促進のためにホームページや検索サイトへの情報提供などで周知を図り、継続した効果目標達成を目指す。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率54.6%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は1.6%改善し56.2%となった。 【目標の達成状況の要因】 輸送人員は減少しているが2025年4月に回数券を廃止した影響により増収となった。	収支率は改善しているものの輸送人員が減少している現状から、今後も事業を継続していくためには利用者の確保が必要であるため、事業者、沿線市町村と協力して利用者の確保に努める。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
JR/バス関東株式会社	南房州本線	・令和7年4月より交通系ICカード決済を導入したほか、イベント開催時に臨時バス運行を行い、利用者サービスの向上を図った。 ・運賃改定を実施し収支改善図った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】:収支率を1%改善させる。(R6年度収支率36.7%) 【効果達成状況】:前年度に比べて、13.27%改善し、50.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】:・運行の見直しによる増収 ・動力費などの減少による経費削減	・R7年度にICカードを導入したことからの、利用促進を図るとともに、自治体との連携を強化し、利用者増を目指したイベントへの参加や、地域のニーズに応じた運行改善に取り組んでいく。
日東交通株式会社	館山鴨川線	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】:収支率を1%改善させる。(R6年度収支率33.1%) 【効果達成状況】:前年度と比べて、収支率は3.09%悪化し、30.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】:利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	引き続き、鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行うほか、運賃改定を実施し、収支改善を目指す。
日東交通株式会社	館山市内線	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】:収支率を1%改善させる。(R6年度収支率33.2%) 【効果達成状況】:前年度と比べて、収支率は1.03%悪化し、32.2%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】:利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	引き続き、鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行うほか、運賃改定を実施し、収支改善を目指す。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・交通系IC決済の導入や鉄道ダイヤ連携によるダイヤ改正検討とニーズに沿った運行計画により利便性・サービス向上を図った点を評価する。県や市町、関係機関と連携し、より地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8 年 1 月 28 日

協議会名: 木更津市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通(株) 馬来田線	木更津駅東口～清見台東～東横田	令和6年10月広報に、路線バスの利用による各種メリットのほか、利用者の減少などが路線の廃止に繋がるという趣旨の内容を含めた利用促進に関する記事を掲載。また、交通事業者が実施する運転免許証自主返納者向けの運賃割引についても掲載。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率32.4%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は3.6%悪化し28.8%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通(株) 三島線	木更津駅西口～八重原～中島	令和6年10月広報に、路線バスの利用による各種メリットのほか、利用者の減少などが路線の廃止に繋がるという趣旨の内容を含めた利用促進に関する記事を掲載。また、交通事業者が実施する運転免許証自主返納者向けの運賃割引についても掲載。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率39.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.5%悪化し34.6%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通(株) 姉ヶ崎線(平岡小)	姉ヶ崎駅～平岡小前～茅野	令和6年10月広報に、路線バスの利用による各種メリットのほか、利用者の減少などが路線の廃止に繋がるという趣旨の内容を含めた利用促進に関する記事を掲載。また、交通事業者が実施する運転免許証自主返納者向けの運賃割引についても掲載。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率55.8%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は10.2%悪化し45.6%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通(株) 姉ヶ崎線(桜台団地)	姉ヶ崎駅～桜台団地～茅野	令和6年10月広報に、路線バスの利用による各種メリットのほか、利用者の減少などが路線の廃止に繋がるという趣旨の内容を含めた利用促進に関する記事を掲載。また、交通事業者が実施する運転免許証自主返納者向けの運賃割引についても掲載。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率62.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は7.0%悪化し55.2%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年 1月 26日

協議会名： 茂原市地域公共交通会議
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道(株) 茂原長南線	茂原駅南口～長南～長南営業所	市公式ウェブサイト・広報に路線バスの利用を促す記事を掲載した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率50.27%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は6.85%改善し57.12%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 令和7年3月の運賃改正により値上げを実施したが、想定よりも利用者の逸走が無かったことや、令和7年4月実施の路線再編により廃止した系統の利用者が茂原長南線に移ったため。	通勤通学需要や観光需要の把握をし、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正をし、収益を獲得していく。
小湊鉄道(株) 茂原ロングウッド線	茂原駅南口～群界橋～ロングウッドステーション	市公式ウェブサイト・広報に路線バスの利用を促す記事を掲載した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率44.05%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.58%改善し44.63%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 令和7年3月の運賃改正により値上げを実施したが、想定よりも利用者の逸走が無かったこと、令和6年4月以降実施の減便した系統の利用者が茂原ロングウッド線に移った結果、収入は増加したが、人件費の高騰やコロナ禍で止まっていた車両の入換を行い、キロあたり費用が大幅に上昇した結果、目標1%に届かなかった。	終点をロングウッドステーションから市原市喜多への変更することで、塩田喜多線との接続を検討し、内房へのアクセスを強化することで、収益の改善を図る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・市と連携しデジタル／アナログ併用の利用促進策を行った点について評価する。引き続き自治体とも連携し、効果的な利用促進策の検討を進めていくことを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名： 成田市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株) 多古本線	八日市場～多古～成田	地域公共交通マップを作成し、市ホームページ等で周知することでバス利用の促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施されている	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率49.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は33.2%改善し、令和7年度収支率は83.1%となった。 【目標達成状況の要因(分析)】 運行の見直しや、動力費などの減少による経費削減。	ICカードの利用促進を図るとともに、自治体との連携を強化し、利用者増を目指したイベントへの参加や、地域のニーズに応じた運行改善に取り組む。
京成バス千葉イースト(株) 成田佐原線	京成成田駅～来光台～佐原粉名口車庫	中学校卒業予定者へ公共交通の利用促進チラシを配布した。	A 計画通り事業は適切に実施されている	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率66.4%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は10.1%改善し、令和7年度収支率は76.5%となった。 【目標達成状況の要因(分析)】 輸送人キロが増加しており増収となった。	旅客の利便性向上、利用促進のためにホームページや検索サイトへの情報提供等で周知を図り、継続した効果、目標達成を目指す。しかしながら、今後、取組について効果が見込めず、目標が達成されることが困難な場合は、再編等の検討も視野に入れていく。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・地域公共交通マップを作成し市HP等で利用促進を図った点について評価する。引き続き自治体とも連携し、効果的な利用促進策の検討を進めていくことを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名： 東金市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
九十九里鉄道(株) 片貝循環豊海線	東金駅～家徳・幸田～東金駅	関係市町とともに、バスの認知度向上及びバス利用の促進を図るため、時刻表や路線図の配布等を実施した。	A	計画事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率60%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は6.93%悪化し、53.07%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 他路線を減便した結果、乗継客が減少し、当該路線の利用者も減少した。	ダイヤの効率化を図る事を目標とし、お客様の利便性の向上を図る
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月26日

協議会名：旭市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス千葉イースト(株)	<p>銚子旭線</p> <p>・起点、経由地、終点 東芝町～イオンモール銚子～旭駅</p> <p>・系統キロ 20.6km</p>	<p>旭市総合公共交通マップを改訂し、市内各戸へ配布するほか、駅や公共施設に設置する。</p> <p>また、マップの地図データをスマートフォン等で閲覧できるよう、地図閲覧アプリで公開し、利用促進を図る</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した。</p> <p>目標 前年度と比較して収支率1%以上改善</p> <p>実績 収支率1.5%改善</p>	<p>旅客の利便性向上、利用促進のためにホームページや検索サイトへの情報提供等で周知を図り、継続した効果目標達成を目指す。しかしながら、今後、取組について効果が見込めず、目標が達成されることが困難な場合は、再編等の改正も視野に入れていく。</p>
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。</p> <p>・旭市総合公共交通マップを改訂し、デジタル/アナログによる利用促進策を行った点について評価する。引き続き自治体とも連携し、効果的な利用促進策の検討を進めていくことを期待する。</p> <p>・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。</p>				
第三者評価委員会における各委員からの意見	<p>令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮された。</p> <p>○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。</p> <p>○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。</p>				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名： 市原市地域公共交通会議
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鐵道株式会社 塩田喜多線	塩田営業所～喜多	一部重複する関係系統等を含めた時刻変更等し、収支改善に努める。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】 収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率80.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は悪化し70.1%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 運賃改定や減便した路線からの利用者が塩田喜多線に移った結果収入の増加には繋がったが、それを上回る車両費・人件費・燃料費等の費用増加により、収支の減少につながった。	茂原、長柄方面のバスを受け、接続の改善を図り、収益を獲得していく。
日東交通株式会社 姉ヶ崎線(平岡小経由)	姉ヶ崎駅～茅野	鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率55.8%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は1悪化し45.6%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用人数の減少により収入が減り費用面等が大きく増えた為、収支が悪くなった。	現在の取り組み内容は引き続き継続していくが利用者数等を考慮し、ダイヤの改正等を検討することで収支の改善を図る。
日東交通株式会社 姉ヶ崎線(桜台団地経由)	姉ヶ崎駅～茅野	鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率62.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は悪化し55.2%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用人数の減少により収入が減り費用面等が大きく増えた為、収支が悪くなった。	現在の取り組み内容は引き続き継続していくが利用者数等を考慮し、ダイヤの改正等を検討することで収支の改善を図る。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・鉄道と連携したダイヤ改正により利用者のニーズに沿った運行計画の検討を行った点について評価する。引き続き自治体とも連携し、より効果的な利用促進策の検討を進めていくことを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(八千代市地域公共交通計画別紙に基づく事業)

令和8年1月27日

協議会名： 八千代市地域公共交通会議
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス㈱ 北部循環線	草野車庫～八千代台駅 ～いきいきプラザ	・沿線にある集客施設と時刻表を記載したルートマップを作成し、自治会内で配布することで、地域の魅力とバスの利便性をPRした。 ・地元自治会、関係市、京成バス㈱からなる三者協議会を開催し、利用促進や課題点等について協議した。 ・市ホームページに路線バスに関する情報を掲載する等、公共交通の利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】 収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率34.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は3.2%悪化し31.7%となった。 【目標を達成できなかった要因(分析)】 改善基準対応や運転士確保の待遇改善のための人件費の増加や昨今の物価高騰により運送コストが上昇し、収支が悪化した。	本年度同様、ルートマップの配布や市ホームページへの路線バス情報の掲載、リーフレットへの路線図の2次元コードの掲載により利用促進を図るとともに、三者協議会にて利用促進や課題点について協議を行っていく。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・三者協議会を開催し利用促進等について協議を行った点について評価する。引き続き自治会や市町、事業者で連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月27日

協議会名： 鴨川市地域公共交通会議
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通(株)館山鴨川線	館山駅～鴨川駅～亀田病院	・JRダイヤに合わせた運行計画検討中。 ・市ホームページに路線情報を掲載。 ・市広報誌に公共交通利用の啓発記事を掲載。 ・事業者と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A	計画どおり事業は適切に実施されている。	C 【目標】令和6年度と比較して収支率1%以上の改善(令和6年度収支率33.1%) 【効果達成状況】収支率は令和6年度と比較して3.09%悪化した。	【目標達成状況の要因】利用者が増え収益も増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費などの費用部分が増加した。 利用促進のため、市ホームページや広報に啓発記事を掲載する。また、引き続き事業者とともに乗り方教室を実施する。
日東交通(株)木更津鴨川線	イオンモール木更津～かずさアーク～亀田病院	・JRダイヤに合わせた運行計画検討中。 ・市ホームページに路線情報を掲載。 ・市広報誌に公共交通利用の啓発記事を掲載。 ・事業者と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A	計画どおり事業は適切に実施されている。	C 【目標】令和6年度と比較して収支率1%以上の改善(令和6年度収支率32.7%) 【効果達成状況】収支率は令和6年度と比較して3.92%悪化した。	【目標達成状況の要因】利用者が増え収益も増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費などの費用部分が増加した。 利用促進のため、市ホームページや広報に啓発記事を掲載する。また、引き続き事業者とともに乗り方教室を実施する。
日東交通(株)鴨川市内線	誕生寺入口～鴨川駅～仁右衛門島入口	・JRダイヤに合わせた運行計画検討中。 ・市ホームページに路線情報を掲載。 ・市広報誌に公共交通利用の啓発記事を掲載。 ・事業者と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A	計画どおり事業は適切に実施されている。	C 【目標】令和6年度と比較して収支率1%以上の改善(令和6年度収支率46.3%) 【効果達成状況】収支率は令和6年度と比較して6.41%悪化した。	【目標達成状況の要因】利用者が増え収益も増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費などの費用部分が増加した。また、利用者が同区間の路線に流れた可能性がある。 利用促進のため、市ホームページや広報に啓発記事を掲載する。また、引き続き事業者とともに乗り方教室を実施する。
日東交通(株)鴨川市内線	誕生寺入口～鴨川駅	・JRダイヤに合わせた運行計画検討中。 ・市ホームページに路線情報を掲載。 ・市広報誌に公共交通利用の啓発記事を掲載。 ・事業者と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A	計画どおり事業は適切に実施されている。	A 【目標】令和6年度と比較して収支率1%以上の改善(令和6年度収支率47.1%) 【効果達成状況】収支率は令和6年度と比較して5.22%改善した。	【目標達成状況の要因】利用者が増え収益も増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費などの費用部分が増加した。 利用促進のため、市ホームページや広報に啓発記事を掲載する。また、引き続き事業者とともに乗り方教室を実施する。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・市と事業者で連携し乗り方教室の開催、市HPや市広報誌への利用促進情報掲載を行った点について評価する。引き続き自治体・事業者で連携し、効果的な利用促進策の検討を進めていくことを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年12月22日

協議会名： 君津市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通㈱三島線	木更津駅西口～八重原～中島	・市広報誌(10月号)で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス(ノーカーサポート優待証)を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率39.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.5%悪化し34.6%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱君津市内循環線	八重原A3棟前～君津製鉄所～君津駅北口	・市広報誌(10月号)で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス(ノーカーサポート優待証)を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率54.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は3.6%悪化し50.5%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱畑沢線	木更津駅西口～東畑沢～君津駅南口	・市広報誌(10月号)で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス(ノーカーサポート優待証)を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率38.7%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は変わらず、38.7%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱高倉アカデミア線	木更津駅東口～かずさアーク～かずさ小糸南	・市広報誌(10月号)で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス(ノーカーサポート優待証)を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率55.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は5.1%悪化し50.1%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱富津線	木更津駅西口～青堀駅～富津公園	・市広報誌(10月号)で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス(ノーカーサポート優待証)を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率61.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.9%悪化し57.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 R6.4に減便を実施したことにより利用者が減少し、また、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月23日

協議会名： 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
日東交通㈱ 富津線	木更津駅西口～青堀駅～富津公園	<p>・令和6年11月26日、市内小学生を対象とした路線バス乗り方教室を日東交通株式会社と開催した。</p> <p>・市ホームページにて、時刻表やダイヤ改正等の情報を掲載しているほか、運転免許証返納者への優遇制度として、バス事業者の優待割引制度を紹介するページを掲載した。</p> <p>・公共交通を利用した日帰り旅行プラン（おでかけモデルプラン）を作成し、市ホームページに掲載した。</p> <p>・市内の公共交通を網羅的に掲載した公共交通マップを令和7年3月に更新し、配布した。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	C <p>計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。</p> <p>【目標①】年間バス利用者数 令和8年度（R7.10～R8.9）までに15万人</p> <p>【効果達成状況】 令和7年度（R6.10～R7.9） 13万3千人（令和6年度利用者数 14万人）</p> <p>【目標②】前年度と比べ、収支率を1％以上改善させる。 （令和6年度収支率 61.9％）</p> <p>【効果達成状況】 前年度と比べ、収支率は4.9％悪化し、57.0％となった。</p> <p>【目標の達成状況の要因】 R6. 4月に減便を実施したことにより利用者が減少し、また、物価高騰の影響が大きく、燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。</p>	鉄道のダイヤ改正に合わせたバスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、鉄道ダイヤや地域のニーズに合った運行計画の策定等、より効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名： 袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通(株) 馬来田線	木更津駅東口～清見台東～東横田	市広報紙やホームページにて、路線バスの利用促進や、交通事業者が実施している高齢者への助成制度について周知した。 市内公民館にて路線バスの乗り方教室を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率32.4%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は3.6%悪化し28.8%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通(株) 姉ヶ崎線(平岡小)	姉ヶ崎駅～平岡小前～茅野	市広報紙やホームページにて、路線バスの利用促進や、交通事業者が実施している高齢者への助成制度について周知した。 市内公民館にて路線バスの乗り方教室を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率55.8%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は10.2%悪化し45.6%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通(株) 姉ヶ崎線(桜台団地)	姉ヶ崎駅～桜台団地～茅野	市広報紙やホームページにて、路線バスの利用促進や、交通事業者が実施している高齢者への助成制度について周知した。 市内公民館にて路線バスの乗り方教室を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率62.2%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は7.0%悪化し55.2%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、鉄道ダイヤや地域のニーズに合った運行計画の策定等、より効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月19日

協議会名： 八街市地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス千葉イースト株式会社 おまご線	千城台駅～ 沖十文字バス乗換場・農政センター ～千城台駅	引き続き、公共交通マップにおまご線を掲載し、利用促進を図った。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率18%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は7.9%改善し、25.9%となった。 【目標を達成できた(できなかった)要因(分析)】 当該路線のパンフレット配布などPR強化により、利用者が増加し、収入増となった。	ふれあいバスの再編を予定しているが、引き続き千葉市と連携し、おまご線の利用促進に努める。
京成バス千葉イースト株式会社 八街線	成東駅～埴谷～八街駅	バスの乗り方教室の開催や花火大会や祭り等のイベント時の広告を車内に掲示した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率16.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は5.1改善し、21.3%となった。 【目標を達成できた(できなかった)要因(分析)】 ・利用促進PRによる利用者増 ・運行会社の合併による収支の改善	自治体と連携した割引制度の検討や花火大会・祭り等のイベント広告の利用促進PR等の実施を行う。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・公共交通マップへの掲載やバスの乗り方教室の開催、イベント時の車内広告掲載による利用促進策を行った点について評価する。引き続き県や市町、関係機関と連携し、より地域のニーズに合った運行計画の策定等効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月20日

協議会名： 匠瑛市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株) 多古本線	八日市場～多古～成田	市ホームページにバス利用の情報提供の掲載や匠瑛市総合公共交通マップを配布し、周知及びバスの利用促進を行った。また、高校生に対しバスの時刻表や定期券等の情報を記載したチラシを配布した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率49.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は33.2%増加し、83.1%となった。 【分析】 利用頻度の多い便に絞った減便により、平均乗車密度が改善した。市内循環バスとの重複ルートを避けたことにより、利用者が増えた。	・最新情報を掲載した公共交通マップを配布し、利用促進を図る。 ・学生の登下校に合わせたダイヤ改正を検討する。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月29日

協議会名： 香取市地域公共交通協議会
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株)栗源線	多古台バスターミナル～高根～佐原	沿線施設を活用したモデルコースの作成をした。	A	計画通り事業は適切に実施されている	A 【目標】令和6年度と比較して収支率1%以上改善 (令和6年度収支率26.1%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は16.3%増の42.4%に改善した。 【目標を達成できた要因(分析)】運行の見直しによる増収や動力費などの減少による経費削減。	・沿線高校に対する定期券の出張販売や中学校卒業者に対する利用促進等を検討する。 ・運賃改定を実施し収支改善を目指す。
京成バス千葉イースト(株)成田佐原線	京成成田駅～来光台～佐原粉名口車庫	検索サイト会社に時刻表のデータ提供を実施した。 沿線自治体において、公共交通ガイドマップを作成した。	A	計画通り事業は適切に実施されている	A 【目標】令和6年度と比較して収支率1%以上改善 (令和6年度収支率66.3%) 【効果達成状況】前年度に比べて、収支率は10.2%増の76.5%に改善した。 【目標を達成できた要因(分析)】工業団地等で外国人労働者が増加したことで利用者が増加した。	中学卒業予定者へのチラシ配布等の利用促進策を検討。また、コスト削減のための路線再編もあわせて検討する。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・沿線施設や沿線自治体と連携しモデルコースの作成や公共交通ガイドマップを作成し利用促進を図った点について評価する。県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名： 山武市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス千葉イースト株式会社 八街線	成東駅～埴谷～八街駅	バスの乗り方教室の開催や花火大会や祭り等のイベント時の広告を車内に掲示した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R6年度収支率16.2%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は5.1%改善し、21.3%となった。 【目標を達成できた(できなかった)要因(分析)】車両入替に伴う修繕費の減少	自治体と連携した割引制度の検討や花火大会・祭り等のイベント広告の利用促進PR等の実施を行う。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・バスの乗り方教室の開催やイベント時の車内広告掲載による利用促進策について評価する。引き続き県や市町、関係機関とも連携し、より地域のニーズに合った運行計画の策定等効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月17日

協議会名: 大網白里市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鐵道(株) 大網白子車庫線	大網駅～白里海岸～ 白子車庫	鉄道との接続を考慮したダイヤ改正を実施した。 沿線自治体において、通学定期の補助を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率77.81%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は20.4ポイント悪化し57.41%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 ダイヤ改正による利便性向上や通学定期補助により利用者は増加したが、それを上回る車両費・人件費・燃料費等の費用増加により、目標は達成できなかった。	・通学需要や観光需要の把握に努め、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正を検討する。 ・運賃改定を実施し収支の改善を目指す。
小湊鐵道(株) 大網サンライズ九十九里線	大網駅～白里海岸～ サンライズ九十九里	鉄道との接続を考慮したダイヤ改正を実施した。 沿線自治体において、通学定期の補助を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率68.53%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は17.01ポイント悪化し51.52%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 ダイヤ改正による利便性向上や通学定期補助により利用者は増加したが、それを上回る車両費・人件費・燃料費等の費用増加により、目標は達成できなかった。	・通学需要や観光需要の把握に努め、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正を検討する。 ・運賃改定を実施し収支の改善を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・鉄道ダイヤとの連携や地域のニーズに合った運行計画の策定等、県と市と関係機関及び事業者で連携し引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月13日

協議会名： 多古町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株)多古本線	八日市場～多古～成田	公共交通マップを作成・配布し、バスの周知利用促進を図った。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる(R6年度収支率49.9%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は33.2%増加し、83.1%となった。 【分析】利用頻度の多い便に絞った減便により、平均乗車密度が改善した。	・公共交通マップの作成・配布等の利用促進を図る。 ・学生の登下校に合わせたダイヤ改正を検討。
ジェイアールバス関東(株)栗源線	多古台バスターミナル～高根～佐原	学生の通学に合わせたダイヤ改正を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる(R6年度収支率26.1%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は16.3%増加し、42.4%となった。 【分析】学生の通学に合わせたダイヤ改正により、平均乗車密度が改善した。	・沿線高校に対する公共交通マップやチラシによる利用促進を図る。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・公共交通マップの作成・配布による周知・利用促進と、学生の通学に合わせたダイヤ改正の実施を通じ、公共交通の利便性向上と利用喚起を着実に推進した点を評価する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月21日

協議会名： 九十九里町地域公共交通会議
評価対象事業名： 小湊鉄道株式会社

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道㈱ 大網サンライズ九十九里線	大網駅～白里海岸～サンライズ九十九里	町の広報紙やHP・SNS等にて利用促進のPR・情報発信を行い、利用者の増加を図る。九十九里町において、通学定期の補助を実施した。フィーダー交通としてタクシーに対し利用助成を行い、バスの利用促進を図る	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R6年度収支率68.3%)【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は16.79%悪化し51.51%となった。【目標の達成状況の要因(分析)】運賃改正により運賃収入の増加、学生定期補助の活用が好調であり、収入と乗車人員は増加したが、車両費・人件費・燃料費等の費用増加し、キロあたり費用が大幅に増加したため。	・通学需要や通勤需要の把握をし、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正をし、収益を高めていく。
九十九里鉄道㈱ 片貝循環豊海線	東金駅～家徳・幸田～東金駅	関係市町とともに、バスの認知度向上及びバス利用の促進を図るため、広報誌やHP・SNS等でPRを実施し、時刻表や路線図を適宜配布した。輸送人員の維持確保のため、九十九里町で通学定期の購入補助を実施した。フィーダー交通としてタクシーに対し利用助成を行い、バスの利用促進を図る	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R6年度収支率60%)【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は6.93%悪化し53.07%となった。【目標の達成状況の要因(分析)】バス通学定期券購入補助の活用が好調であり、収入と乗車人員は増加したが、車両費・人件費・燃料費等の費用が増加し、キロあたり費用が大幅に増加したため。	・乗り継ぎしやすい運行ダイヤ調整を検討する等、利便性向上を図る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・市HPや広報誌の活用による利用促進を行い、自治体及び事業者の連携により多様な利用者への到達性が高まった点を評価する。鉄道ダイヤとの連携や地域のニーズに合った運行計画の策定等、県と市と関係機関及び事業者で連携し引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名： 芝山町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株)多古本線	八日市場～多古・三里塚・芝山千代田～成田	芝山町地域公共交通計画に基づく路線の維持として、町ホームページ等の情報発信により利用促進を図った。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】 令和6年度と比較して収支率を1%改善させる。 (令和6年度収支率49.94%) 【効果達成状況】 令和6年度と比較して収支率は33.13%改善し83.07%となった。 【目標を達成できた要因(分析)】 芝山町地域公共交通計画に基づく路線の維持として、町ホームページ等の情報発信により利用促進を図ることができたため。	引き続き町ホームページ等での情報発信により利用促進に努めるが、今後は、その他の利用促進手法や取り組みについて検討していく。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・自治体と連携し町HPへの情報発信による利用促進を行った点について評価する。引き続き県や市町、関係機関とも連携し、より地域のニーズに合った運行計画の策定等効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名： 白子町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道㈱ 大網白子車庫線	大網駅～白里海岸～白子車庫	鉄道との接続を考慮したダイヤ改正を実施した。 沿線自治体において、通学定期の補助を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率77.81%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は20.4%悪化し57.41%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 ダイヤ改正による利便性向上や通学定期補助により利用者は増加したが、それを上回る車両費・人件費・燃料費等の費用増加により、目標は達成できなかった。	・通学需要や観光需要の把握に努め、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正を検討する。 ・運賃改定を実施し収支の改善を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・鉄道ダイヤとの連携や地域のニーズに合った運行計画の策定等、県と市と関係機関及び事業者で連携し引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会 における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 28日

協議会名： 長柄町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道株式会社	茂原ロングウッド線	・ホームページ・広報等にバスの利用を促す記事を掲載。 ・学校の下校便に合わせたダイヤ改正を実施。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 2025年3月の運賃改正による値上げで乗客の減少が無かったこと、2024年4月以降減便した系統の利用者が本路線に移ったことにより収入が増加したが、人件費の高騰等により、目標の収支率1%改善には届かなかった。	終点をロングウッドステーションから市原市喜多へ変更することで、塩田喜多線との接続を検討し、内房へのアクセス強化による収益の改善を図る。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月19日

協議会名： 長南町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道㈱ 茂原長南線	茂原駅南口～長南～長南南営業所	ホームページ、広報等に路線バスの利用を促す記事を掲載した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R7年度収支率57.1%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は6.8%改善し57.1%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】沿線の学校の通学利用は増加し、前年度と比べて3,148人乗車人数が増えているため。	・通学需要や観光需要の把握に努め、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正を検討する。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					